

# あおえネットワーク

**12**  
2025



岡山赤十字病院 患者サポートセンター



岡山日赤HP

## 年末・年始の休診について

※休診時のFAX受付分は翌診療日に返信いたします。  
※Web予約は24時間365日可能です。

|            |         |          |         |
|------------|---------|----------|---------|
| 12月26日 (金) | 通常通りの診療 | 1月1日 (木) | 休診      |
| 27日 (土)    | 休診      | 2日 (金)   | 休診      |
| 28日 (日)    | 休診      | 3日 (土)   | 休診      |
| 29日 (月)    | 休診      | 4日 (日)   | 休診      |
| 30日 (火)    | 休診      | 5日 (月)   | 通常通りの診療 |
| 31日 (水)    | 休診      |          |         |

- 急を要する患者さんにつきましては、救命救急センターで診療を行います。
- 救命救急センターへ患者さんをご紹介いただく場合は、ご連絡をお願いいたします。

**救命救急センター：電話／086-222-8811(代表) FAX／086-223-9983(専用)**

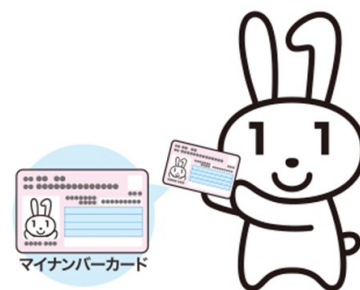
※紹介状のない場合は、「時間外選定療養費(11,000円)」が必要となる事があります。

## マイナ保険証に関するお知らせ

従来の健康保険証は、令和7年12月1日をもって有効期限が満了となります。  
12月2日以降で当院を受診される際は、以下のいずれかをご提示ください。

- ・マイナ保険証 (カード)
- ・スマートフォンのマイナ保険証
- ・資格確認書 (マイナ保険証をお持ちでない方)

マイナ保険証は随時情報更新されるため、毎回受診時に資格確認が必要になります。円滑な受付のためご協力をお願いいたします。



## 紹介予約と当日紹介に関するアンケートのお礼

10月に実施いたしました『外来診療予約と当日紹介についてのアンケート調査』について、ご協力ありがとうございました。いただいたご意見・ご要望等は院内で共有し、随時対応してまいります。

## がんサロン開催のお知らせ

日時：12月9日 (火) 10:00~11:00

場所：岡山赤十字病院 南館2階 会議室1

対象：がん患者さんとそのご家族  
(入院中の方、通院中の方など誰でも参加できます)

### 1. ミニレクチャー

『がんに関わる福祉制度について』

講師：岡山赤十字玉野病院  
医療ソーシャルワーカー 橘 大輔

### 2. 座談会

(内容は問いません)



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。

TEL／086-235-8555 FAX／086-235-8556 e-mail／renkei@okayama-med.jrc.or.jp

# 院内Topics ニュース&報告

## 第95回岡山赤十字病院病診連携研修会

2025年11月5日(水)第95回病診連携研修会を開催しました。今回のテーマは「急性期と地域をつなぐACPの実践と課題～救急の場面で役立たせるには～」です。ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは「もしものとき」に備えて、自分がどのような医療やケアを受けたいかを、前もって考え、家族や医療者と話し合っておく取り組みのことです。体調が急に变化して自分の意思を伝えられなくなっても、その人らしい選択が尊重されるようにするための大切なプロセスです。

今回、救急医、かかりつけ医、救急救命士の3名を演者・パネリストとして迎え、急変時の対応や患者・家族の意思を尊重した医療提供のあり方について意見交換が行われました。

救急現場では、限られた時間と情報の中で意思決定を迫られることが多く、あらかじめ患者の価値観や希望を共有しておくACP(アドバンス・ケア・プランニング)の重要性が改めて確認されました。また、急性期医療と地域医療の連携強化、情報共有の仕組みづくりなど、今後の課題や具体的な取り組みの方向性についても議論され、救急現場でACPをどう活かすか考える契機になり、有意義な学びの場となりました。

整形外科 高橋 雅也



## 災害拠点病院医療救護要員研修会院内研修会

去る10月22日、令和7年度 災害拠点病院医療救護要員研修会院内研修会が行われました。大規模災害に対応するための院内訓練で来院される模擬患者を赤・黄・緑・黒にトリアージしそれぞれのエリアで対応を行いました。

私の担当の緑エリアは30余人の方を受け入れましたが歩行できるものの重度の外傷を負われている方も数人居られ黄色エリアに移送したり、常用薬が災害で紛失したとか避難所で迷子になった子供がやってきたケースもありました。混乱している災害現場では実際にありそうなシチュエーションで災害対策本部と連絡を取りながら対処しました。

皆で協力しながらスムーズに訓練終了できたかと思いますが実際の災害現場ではもっとイレギュラーな事案もありそうですし避難所の環境やメンタル面などさらに様々な事案の対応も必要そうです。災害はないのが一番ですが発生時には今回の経験が少しでも活かせたらと思います。参加された皆様お疲れさまでした。

小児科 後藤 振一郎

